

既製の蒸着紙とフィルムに新用途

キソ化成産業㈱(大阪府東大阪市川俣、中島啓社長、☎06・4308・7661)はこのほど、レーザープリンタ対応の蒸着紙とフィルム基材を上市した。

感光ドラムへのトナー定着に静電氣を用いるレーザープリンタでは通常、金属成分を含有する蒸着紙はスパークを招き使用できない。同社の「メタリックペーパー」と粘着剤を塗工した「メタリックラベル」は、独自の製造方法でこれを克服。ポスターやDM、ラベルの小ロット印刷に蒸着紙の選択を実現した。

「透明OHPフィルム」は高い透明性を確保。クリアカーボンのサンブル制作用途のほか、粘着剤を塗工した「同フィルムラベル」はウインドーディスプレイに使用できる。両素材とも沖データのフィルムに白が打てる。LEDプロダ

レーザー対応の2基材上市

キソ化成産業



クションプリンタ「MICROLINE VINCI C941d」の推奨基材にもなっている。中島信専務取締役は両基材についてこう説明する。

「メタリックペーパーは複写すると真っ黒になるコピー防止用紙、透明OHPフィルムは名称通りオーバーヘッドプロジェクター用のフィルム。両方昔から製造している自社商品で、特定のプリンタメーカーに開発した特注品ではない。偶然VINCIと特に相性が良く、蒸着紙・フィルム共に白トナーが安定して定着した。既製品が時代を経てまったく新たなペーパーと用途を見出した事例だ」

いずれもA3、A4、B4サイズの既製品ほか、特殊サイズやロール仕様に対応している。



メタリックラベル(右)と白トナーで印刷した透明OHPフィルム